

熊本県 実施計画の概要立案

2023年度 都道府県指導者養成研修 (緩和ケアチーム研修企画)

都道府県内の緩和ケアの現状

都道府県内の緩和ケアに関する課題・問題

- どこの医療圏でも十分な緩和ケアを受けることができるよう、がん診療連携拠点病院の緩和ケアチーム研修会を開催し、それぞれの施設内のチーム活動や地域との連携に関する問題・課題を話し合っている。その後のフォローアップで病院訪問の際に課題に対する取り組みを確認しているが、当院のマンパワー不足で病院訪問が続くと院内の仕事に支障がでてしまう。
- 第4期がん対策推進基本計画にもある地域の関係機関等との連携による、個々の状況に応じた、適切ながん医療の提供体制の整備で都道府県拠点病院としてどのように協働すると良いか。

都道府県内の緩和ケアの質向上に向けた 今後の方向性

都道府県単位の取り組みで目指したいこと(ゴール)

緩和ケアに関する自施設での課題と地域での課題を抽出して、課題解決のために今後1年間取り組むことができる。2023年度は15施設が参加したが、これまで参加していない医療圏の施設の参加を促すことができる。

都道府県単位の取り組みで扱いたい内容と方法

- ・ 今後、1年以内に取り組む課題（自施設と地域の課題）の抽出についてのグループワーク。
- ・ 緩和ケアチーム研修はこれまで集合研修・グループワーク（職種別・混合・自施設でのグループワーク）だったが、研修後のアンケートでは研修形式に対しては参加者には好評だった。よって、これまでの研修形式を継続していく。
- ・ 自施設での課題の話し合う機会があるが、医療圏ごとの課題について話し合う時間がなかったために、今後は医療圏ごとのグループワークを設ける。
- ・ プレアンケートの内容は、自施設・地域での今後1年間取り組む課題と取り上げるテーマの設定(ACP、地域連携など)を行なっていく。
- ・ プレアンケートの内容に負担感がある場合には、プレアンケートの提出の有無に関係なく参加できるようにしていく。
- ・ 熊本市での開催となるために、移動距離がある医療圏からの参加に配慮し、研修開始時間や時間帯などを設定する。
- ・ ファシリテーターは熊本大学病院だけで行っているが、今後他施設の緩和ケアチームの協力・持ち回り制などを検討する。

企画概要

企画名

令和6年度熊本県緩和ケアチーム研修

目的

熊本県内の緩和ケアチームの相互交流を通して、熊本県内の緩和ケアの均てん化を促進する

目標

緩和ケアに関する自施設での課題と地域での課題を抽出して、課題解決のために今後1年間取り組むことができる

対象者・人数

対象者：がん診療連携拠点病院等の緩和ケアに携わる医療従事者とする
人数：100人程度（昨年度は74名）

開催期間・時間・開催形式

9:50～12:40 対面形式（感染状況によってはオンライン研修を検討）

実施主体

主催：熊本がん診療連携協議会緩和ケア部会 後援：熊本県、熊本大学病院緩和ケアセンター

プログラム

開始	終了	時間	研修方法	内容
9:15	9:50	35分		研修受付
9:50	10:00	10分		開会・研修説明
10:00	10:35	35分	グループワーク①	アイスブレイク 職種別での困りごとの相談やお互いの顔合わせ
10:35	10:45	10分		休憩
10:45	11:15	30分	グループワーク②	医療圏別でのグループワーク (緩和ケアに関する困りごとや地域連携など)
11:15	11:25	10分		休憩
11:25	11:55	30分	グループワーク③	自施設での今後1年間取り組みたい課題の共有
11:55	12:00	5分		休憩
12:00	12:30	30分	発表	全体共有 (医療圏ごとでの発表)
12:30	12:40	10分		まとめ・閉会

研修の評価

【実施評価】

今後1年間の取り組み課題を自施設別・医療圏別の全体共有を研修のその場で発表してもらう。
グループワーク内容での参加者の反応を確認する。

【結果評価】

ポストアンケート内容

病院訪問等で、各施設での取り組んでいる課題の進行状況を確認し、フォローする。

【企画評価】

ポストアンケート内容（期待していたものと一致しているか、研修会の作業量、研修会への参加姿勢、ファシリテーターの動きについて、参加形式、自施設・地域の課題抽出ができたか等）を踏まえて、今後の研修会の開催形式・内容等の参考にする。

グループワーク① 職種別での困りごとの相談やお互いの顔合わせ

日時	○月 ○日 (○) 10:00~10:35
場所	熊本大学 医学総合研究棟3階 講習室 (予定)
セッティング	机・椅子をグループワーク形式に準備する (1グループ5~6名程度)
担当	ファシリテーター
用意するもの	メモ用のA4サイズの白紙5~6枚程度、筆記用具等、消毒用品など

【学習目標】

職種別での熊本県内の緩和ケアに関する悩みや相談内容を共有し、課題解決ができる。

【事前準備】

プレアンケート内容での緩和ケアに関する悩みや相談内容を把握する。ファシリテーターへの研修参加の依頼送付。ファシリテーターマニュアル作成。

【会場準備】

机・椅子をグループごとに島型形式に準備する (1グループ5~6名+ファシリテーター1名)

【すすめ方】

各グループにファシリテーターを1名配置する。ファシリテーターが司会進行をしながら自由に発言をしてもらう。

【セッションでの留意点】

各グループ内で、職種別で共有したい悩みや相談内容についてテーマを決めて話し合ってもらおう。

グループワーク② 医療圏別でのグループワーク

日時	○月 ○日 (○) 10:45～11:15
場所	熊本大学 医学総合研究棟3階 講習室 (予定)
セッティング	机・椅子をグループワーク形式に準備する (1グループ5～6名程度)
担当	ファシリテーター
用意するもの	メモ用のA4サイズの白紙5～6枚程度、筆記用具等、消毒用品など

【学習目標】

医療圏別での緩和ケアに関する悩みや相談内容を共有し、課題解決ができる。

【事前準備】

プレアンケート内容での緩和ケアに関する悩みや相談内容を把握する。

【会場準備】

机・椅子をグループごとに島型形式に準備する (1グループ5～6名＋ファシリテーター1名)

【すすめ方】

各グループにファシリテーターを1名配置する。ファシリテーターが司会進行をしながら自由に発言をしてもらう。

【セッションでの留意点】

各グループ内で、医療圏別で共有したい悩みや相談内容についてテーマを決めて話し合ってもらおう。

グループワーク③ 自施設での今後1年間取り組みたい課題の共有

日時	○月 ○日 (○) 11:25~11:55
場所	熊本大学 医学総合研究棟3階 講習室 (予定)
セッティング	机・椅子をグループワーク形式に準備する
担当	ファシリテーター
用意するもの	メモ用のA4サイズの白紙5~6枚程度、筆記用具等、消毒用品など

【学習目標】

各施設ごとの緩和ケアに関する悩みや相談内容を共有し、課題解決ができる。

【事前準備】

プレアンケート内容での緩和ケアに関する悩みや相談内容を把握する。

【会場準備】

机・椅子を施設ごとに島型形式に準備する。

【すすめ方】

グループごとに、司会・発表者・書記を決めてもらう。ファシリテーターの個別の担当はなく、巡回する。

【セッションでの留意点】

グループごとの進行状況を確認しながら、ファシリテーターがアドバイス等を行っていく。

発表・全体共有

日時	○月 ○日 (○) 12:00~12:30
場所	熊本大学 医学総合研究棟3階 講習室 (予定)
セッティング	机・椅子をグループワーク形式に準備する
担当	司会
用意するもの	メモ用のA4サイズの白紙5~6枚程度、筆記用具等、消毒用品など

【学習目標】

各施設ごとの緩和ケアに関する悩みや相談内容を全体共有することができる。

【事前準備】

プレアンケート内容での緩和ケアに関する悩みや相談内容を把握する。

【会場準備】

机・椅子を施設ごとに島型形式に準備する。

【すすめ方】

司会が医療圏ごとに施設1カ所を選択して、発表(3分) + 質疑応答(2分)で進行する。施設6カ所程度に発表してもらう。

【セッションでの留意点】

自発的に発表・質疑を期待するが、なければ各施設の話し合い状況を加味して、発表・質疑を割り当てる。